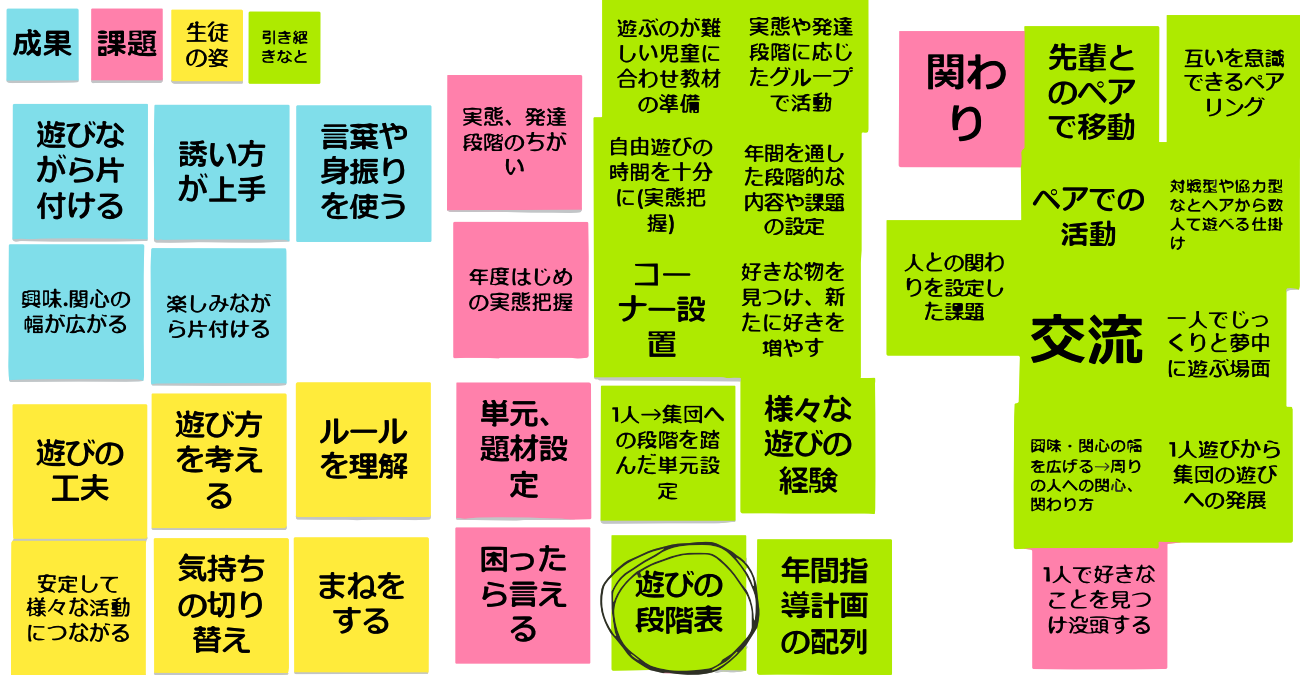




## 授業デザインミーティング実施

全校縦割りで授業デザインミーティング3回目が行われました。今回は、授業内容の評価や児童生徒の変容、来年度への引継事項を中心について話し合い、他学部からの視点や意見、情報交換をすることができました。今回は、6つのグループの内容をお伝えします。

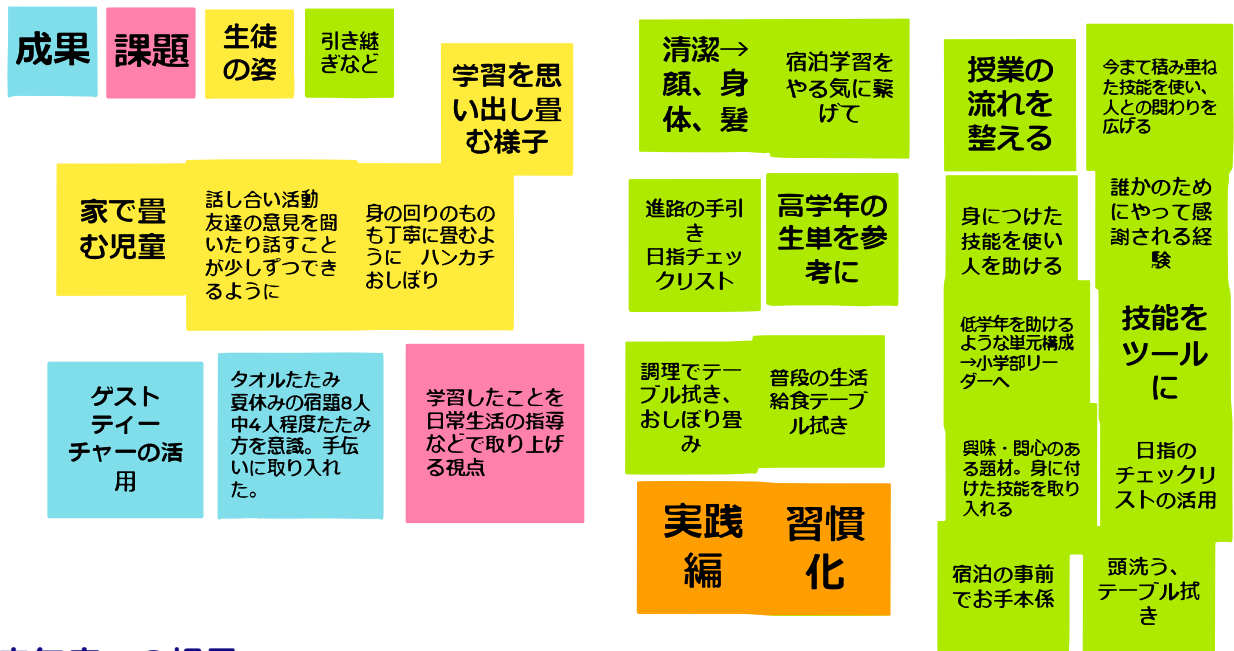
### 小学部 1・2年 遊びの指導



### 来年度への提言

- ・遊びのコーナー設置
- ・遊ぶ時間の確保
- ・グルーピングの工夫
- ・ペアでの活動
- ・一人遊びや集団で遊べる工夫
- ・遊びの段階表を活用
- ・好きなことやものを見付ける環境設定

### 小学部 4年 生活単元学習



### 来年度への提言

- ・学習したことを日常生活に生かす
- ・日常生活のチェックリストを活用
- ・低学年に教える、認められる経験
- ・宿泊学習とつなげる
- ・調理学習とつなげる



成果

課題

生徒の姿

引き継ぎなど

学習のルールを決めることで職業・家庭では定着した。他の学習場面でもできるという

返事をする。立ってイスを入れる。

時数が予定より多くなった。一つの単年で年間の時数を超えてしまったので、生単と組み合わせて考える

何のために行うか、何を学ぶか。どのように学ぶか整理が必要

授業内容、単元計画など見直し

分からないときは、友達に聞いたり助けたりできたりできるようになってきた。

他の授業でも規律を守れるようになった。

職業分野と生活単元学習の棲み分け

生活単元学習と職業家庭科との棲み分け兼ね合い

中学部段階で身に付ける内容の精選、学習内容の精選

授業内容を生単で取るか、職業・家庭で取るか検討

協力する姿

学習規律が身に付いてきた



### 来年度への提言

- ・職業・家庭科の単元計画を見直し
- ・中学部段階で身に付ける内容や学習内容の精選
- ・生活単元学習と職業・家庭科との棲み分け
- ・何をどのように学ぶか整理



成果

課題

生徒の姿

引き継ぎなど

食への興味+授業での知識=できることが増えた

生徒の意欲から単元構成→技能の定着

教科として

調理以外での意欲のもたせ方

職業としての割り切りが有効な人もいればそうでない人も

一般の中学生でも職業については

できることが増え、自分でやろうとすることが増えた

繰り返し取り組める授業時間、人数

繰り返しの学習、積み重ね

主体的にできる題材

生徒に知識を付けようとする意欲

中学部段階の知識の習得

やってきたことを高等部で引き継げるのか...。高等部で人数が増えるため、永遠の課題。

実体験、即時評価

モチベーション維持のために、実態に応じた題材の選定

家庭との繋がりが親の意識を高める



### 来年度への提言

- ・実体験の充実
- ・即時評価の積み重ね
- ・実態に応じた題材設定
- ・家庭との連携
- ・職業・家庭科の教科として何を学ばせるか



**成果** **課題** **生徒の姿** **引き継ぎなど**

家庭でもルール作り 本人が決めた事を親にも協力を

未来へのスケッチへの活用  
担任との面談

学校生活と働く現場のつながり意識up

実習でできたことを共有

他者評価

2回の実習→働き方の比較ができた

実習を通して自信をつけた

実習の外部評価から自己理解が進んだ

本人と保護者の卒業後の意識は不十分

不規則の帰宅→余暇、生活リズムを整える、親にも共有

親との関係性を見直してもらおう→寄宿舎

お金の使い方、働き続けるための栄養の取り方を学ぶ

学校でやった事を家でもやる

休憩時間でのスマホの使い方→情報モラルも含めて指導

個々の課題→作業学習担当とのより深い共有

実習の時だけでなく、全ての場面で「できる」

課題の改善に向けて、継続的な指導が必要

ホンレンソウを全ての場面で定着させる

対象生徒の変容  
寄宿舎効果

心の安定→挑戦できるようになってきた

人への関心up

失敗を受け入れるようになった

働く、生活する上で自己の課題や得意な事が明確に

勝手に作業を進める

● 高2段階 本人—保護者—担任の意見のすり合わせ

● 保護者の本人理解のツール→未来へのスケッチを活用

**来年度への提言**

- 家庭でもルールを作り、家庭と連携
- 学校で学んだことを家庭でも実践
- スマホの使い方
- 未来へのスケッチを活用
- 本人、保護者、担任の意見共有



**成果** **課題** **生徒の姿** **引き継ぎなど**

実際に買い物、食事など体験できた

自分でも利用しようという気持ち

また行ってみよう

回を重ねるごとに、自分で探そうとする姿

ナイスアリーナへ行くこうと友達を誘う

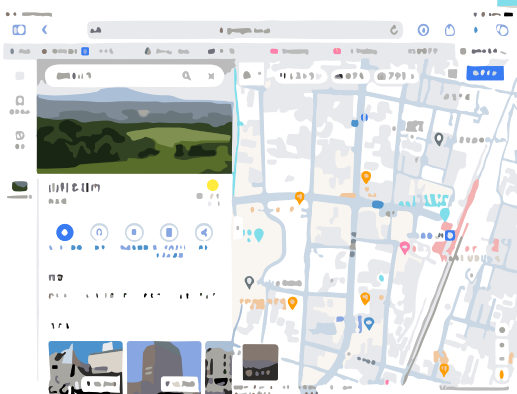
生徒によっては、1人で遠出している子もいる

再びプライベートで出かける手段に生徒の家の環境差

家族の協力が必要な生徒の今後

長期休み向けに、般化宿題など出してみる？

3学期はまとめ。配布できるシートを作成。



グーグルマップを活用

小6はビュッフェなど体験済み

小学部では集回での経験を

小学部のうちに路線バスの経験ができれば

小6→買い物支払い経験済み(予算内での買い物難しい)

その学年にあった経験をしていく→積み重ね

路線バスの利用の仕方(紙質手帳の提示)、乗降の支払い、財布の管理、バス停や時刻

中1は職場見学など体験済み

グーグルマップの使い方

**来年度への提言**

- 児童生徒の実態、学年や学部段階に合わせて経験の積み重ね
- 家庭と協力、連携
- 般化できるよう宿題の設定
- 家庭で実践する機会の設定

